

ど、企業からの発注数が落ちている。

建設環境部門

質問 空き家からの油漏れ、雑草や樹木の繁茂等の苦情が多くなっているが対策は。

答弁 所有者不明を含めて空き家が多数あり、実態調査を行う必要がある。現況としては個人保護の観点から立ち入りできない。空き家対策条例制定については、他市や国の上位法を確認しながら、検討する。

質問 高齢者への振り込め詐欺事件が多発しているが、自宅電話機への、レコーダー取り付けの補助や、貸出を行ってはどうか。

答弁 世帯数が多く市単独では難しいので、関係団体と相談をし範囲を考慮しながら検討する。
質問 家庭ごみ等が増加しているが原因は何か。

答弁 リサイクルに出せるものでも、普通ゴミとして出されているのが多く見受けられる。市民への分別協力を強力にお願いする。

質問 集中豪雨、土石流等の自然災害が広島で発生したが、このような場合奥州市ではどう対応するのか。

答弁 奥州市防災計画と広島災害を比較検証した。災害警戒本部、更には災害対策本部の設置基準では、奥州市の場合かなり早い段階で設置されることになる。情報判断し早めの対応に尽きる。市内の急傾斜地や他の危険個所の点検を緊急に行なっている。

質問 道路の維持管理（道路台帳、橋梁管理）状況は。

答弁 道路台帳は毎年2千万円前後の経費をかけて整備している。水道部門や他の関係部門と一体の管理台帳の作成が理想

であるが、今後時間をかけて進めて行く。橋梁管理計画は、平成23年～25年で作成したが、橋梁数は1200橋である。

質問 地域除雪に係る検討会議の状況は。

答弁 除雪に関して地域の課題を協議する会議であり、定期的に開催している。今年は10月に開かれる。特に高齢者や生活弱者の実状に合った対策が求められる。

質問 公営住宅の保全計画はどのように進められているのか。

答弁 住宅の長寿命化を図りながら高齢化対応洋

式トイレや階段手摺、バルコニー手摺、ライフライン等の改修、整備を年次計画（平成24年～36年）により進める。

質問 水道事業の現状と今後の展望は。

答弁 平成25年度の事業の落ち込みの原因は、震災復興費、人口減少、使用水量の減少、有収率の低下などが要因である。今後は、今年度から簡易水道の統合が始まっており、平成26年は水沢区、平成27年は江刺区、平成28年は胆沢区・衣川区、平成30年以降は前沢区で施工する。



「リサイクル」分別に協力を

決算審査特別委員会附帯意見

平成26年第3回奥州市議会定例会において審査した、平成25年度決算については、次の意見を付して原案のとおり認定しました。

会 計				内 容	
一 事 業 会 計	般 会 計	計 計		1	引きこもり対策として若者支援を充実されたい。
				2	D V被害、児童虐待の防止対策に万全を尽くされたい。
				3	学校施設修繕等の予算確保に努められたい。
				4	保育士の正規雇用率を高められたい。
				5	医師、看護師の確保に努められたい。
				6	米価下落に伴う、農家への支援対策を講じられたい。
				7	東北油化株式会社の悪臭問題解消に向けた抜本的対策を強力かつ着実に推進されたい。
				8	放射能汚染被害対策を着実に推進されたい。
国 民 宿 舎 等 事 業 会 計	国民宿舎衣川荘の経営改善に向けて、抜本的な対策を講じられたい。				